

広瀬川周辺活用プロジェクト

前橋工科大 BASS プロジェクト

プロジェクトの目的

人口減少や少子高齢化が進む現代において、「自治体任せではなく地域全体で公共資産整備を共創する仕組みを構築すること」、「地域を活性化し豊かな地域生活を実現する公共資産を整備・継続させる体制を実装すること」にある。つまり、前橋中心商店街に置き換えると、『前橋住民が中心商店街の公共資産と捉えている「広瀬川」を軸にした活性化策を、地域全体で共創する仕組み・体制を構築し、その継続的な取組により、住民の豊かな生活を実現するということ』である。

前橋市が考える広瀬川

中心市街地の代表的な観光スポットである前橋文学館・アーツ前橋・臨江閣を広瀬川河畔でつなぎ、文化芸術と歴史を核に、歩いて楽しめるエリアとして面的整備を図り、まちなか回遊や居住人口の増加を図る。

28年度 まちなか文化芸術・歴史空間の創生

(県都まえばし創生プランより)

まちなか回遊に
向けた
仕掛けづくり

広瀬川河畔の
活用検討

朔太郎記念館
移築工事

など

広瀬川テラス構想とは？

広瀬川テラス構想

#1 前橋文学館1階への店舗誘致

#2 萩原朔太郎生家の移築

#3 河畔整備と車道の交通規制

#4 「広瀬川」ブランドの創作

#4 広瀬川美術館と連携したソフト・ハード整備

「広瀬川テラス構想」の#1～#2は具現化され、今後更なる効果と#3以降の動き出しが期待されます。本プロジェクトは、まさに行政や前橋商工会議所、前橋街づくり協議会などが共に進めてきた本構想を、市民の目線で更に推進を図るもので、非常に重要なプロジェクトです。前橋商工会議所としても広瀬川周辺の活用を図り、魅力を高める本プロジェクトを応援します。



須田 憲人

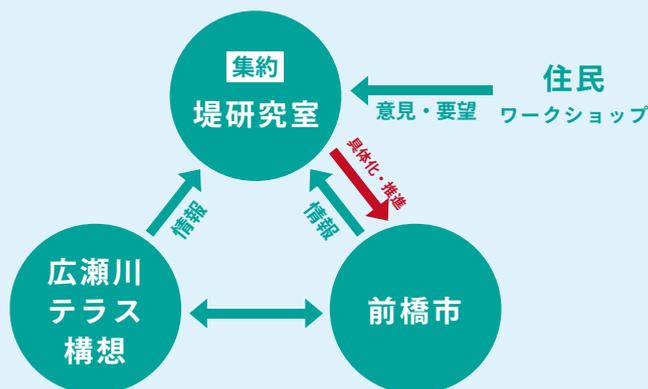
・前橋商工会議所
政策部政策推進課 課長補佐
・まちなか協議会 事務局



堤 洋樹

前橋工科大学工学部建築学科 准教授

本ワークショップは、堤研究室における研究の柱である「公共施設をいかに運用・管理していくか」という取り組みの一環として実施しています。この活動を通して皆様の広瀬川に対する思いを集約し、その結果を前橋市に掛け合い実現させたいと考えています。ぜひ次回のワークショップ(6/20開催)にもご参加ください。



提案の内容と5月ワークショップの内容については、裏面をご覧ください

前橋工科大学 堤研究室の提案 広瀬川に「タチヨル」きっかけを提案します

広瀬川に人やお店が集まり、にぎわいが生まれるためには、大規模な整備ありきでなく、広瀬川の使い方を考えながら段階的に整備することが重要です。そこで今回は、前回のワークショップから出たアイデアを堤研究室で磨きあげた3つの企画を提案します。



1. タチヨルでんとう
新しいスポットを見つけて広瀬川を楽しみたい。また、夜は暗いから安心して歩けるように、街灯を活用した影絵で、お店やスポットを紹介する。



2. タチヨルづくえ
川床ほどではなくてもゆっくりお茶をのんでリラックスしたり、お店との連携で立ち飲みをして交流の輪を広げられるよう、柵に机を付ける。



3. タチヨルかわどこ
桜や川を見ながら食事をして季節を楽しんだり、バンドのステージとして使うことで川と音楽を楽しめるように、レンタルできる川床をつくる。

ZONING PLAN 配置計画



交通規制 = 週末は公園に



現在は歩道しか使えませんが、週末は一部の車両を除いて通行止めにするにより大人はお茶やお話しを楽しみ、子供は思い切り遊ぶことが出来る、より広い世代の人が過ごしやすい場所になります。

この提案をもとに、ワークショップを実施しました

1 タチヨルでんとう についての意見

季節に応じて影絵を変えて、その時々風情を感じたい
group6 山越

川面に映画を映してスクリーン代わりにする
group4 岩永

店名や店からのメッセージをうつつ絵でライトアップ(店の宣伝など)
group4 秋山



ワークショップの様子

2 タチヨルづくえ についての意見

いろいろなタイプの机を設置する
group6

手紙をノートに(落書き帳)
group2

小さい移動できるタチヨルづくえにするとお気に入りの場所で自分の居場所を作れるようになる
group1 館



3 タチヨルかわどこ についての意見

音楽が流れていると良い雰囲気になる
group6 窪田

いろいろなタイプの川床
group6

アプリでケータリング
group1 松島

4 自分のタチヨル についての意見

タチヨル弁天で弁天通り商店街の飲食店が屋台を出すとまちバルが良い環境で出来る
group6 秋葉

BBQすると家族連れが増える
group1 石原

川沿いに作業のできる机があり、日替わりでキッチンカーが出店すれば、ランチが楽しくなる
group3 吉原実

4つめのタチヨル タチヨル BBQ

お店に貸し出しできるスペース。災害時には炊き出しも行う。

ワークショップを終えて

前橋の財産である広瀬川をどうするのかを協議会を立ち上げてこれまで取り組んできた。協議会としても、市へ継続的に提案をしてきた。その中に、川床、オープンカフェなどもあり、あるべき方向性として、店をどう増やすのかという議論にたどり着いた。まちづくりは、継続が最も重要であり、今までの継続活動の結果として、広瀬川に朔太郎の生家やマンションなど、様々な投資が進み始めている。今日出た意見は、みんなやってもらいたい話ばかりである。車がなるべく入らない、段差がない状況が望ましいだろう。是非、前工大の堤教授にまとめて頂いて、是非市に繋いでいただきたい。



岸 篤美

まめぜん商店 店主

次回ワークショップ開催

6月20日(火)

会場：立川町会館
前橋市千代田町3丁目8-12(熊野神社となり)
開始：18時30分

今後の予定

11月 デザインを考えるワークショップ
2018年1月 シンポジウム